

勝川・味美地区ちよい乗りバス 事業計画書

平成20年8月

春日井市商店街連合会
あおい交通株式会社

1

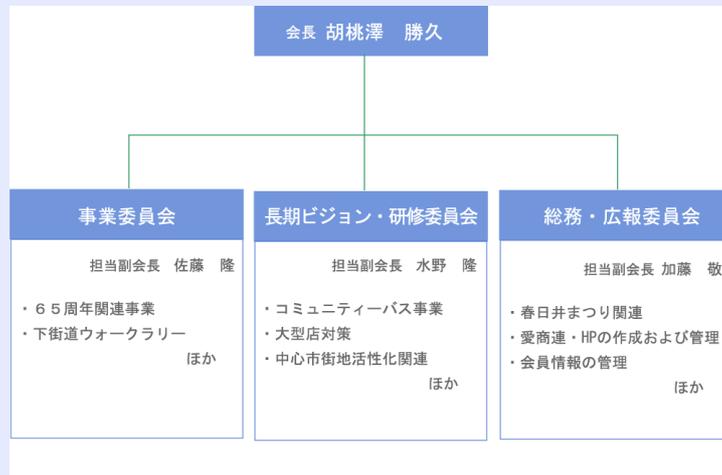
春日井市商店街連合会とは

市内18ヵ所の商店街で組織、組合員総数約600、設立:昭和27年



2

組織と事業内容



3

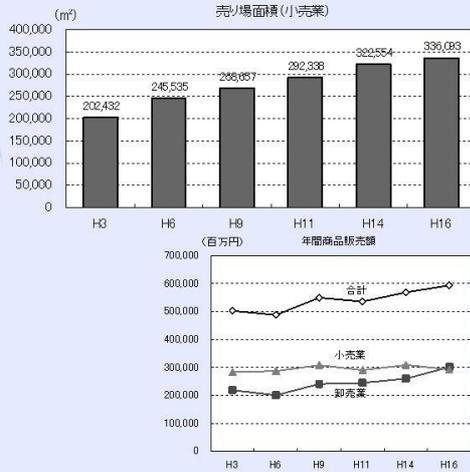
「ちょい乗りバス」とは？

- ◆ 食料品などの買物や病院、ご近所に行く場合など、日常生活でのちょっとした移動に手軽に利用してもらうことを想定した乗合の移動手段。コミュニティバスよりも小規模で、タクシーよりも安く乗れるシステム
- ◆ バス車両
バス事業者所有の車いす乗降装置付のマイクロバス
(定員21人、ただし車いす使用の場合は17人)

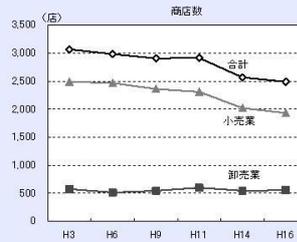


4

既存商店街の衰退



市内の小売業の売り場面積はH3～16年で1.7倍に増加しているが・・・



大型店の立地によって市内の小売業の売り場面積が急増する一方で、商店数はH3～16年で22%も減少し、空き店舗が増加している。また、年間商品販売額は横ばいであることから、床面積あたりの販売額が減少しており、既存店についても非常に厳しい経営環境にあるといえる。

7

(2) 春日井市内の公共交通

JR中央線・名鉄小牧線の両鉄道路線が幹となり、さらにJRの各駅から多数のバス路線が運行し、名古屋市を中核とする通勤圏を担う交通網を形成している。

しかしながら、市内を移動するという観点では公共交通の利便性は高いとは言えず、自家用車に頼らざるを得ない状況になっている。

勝川・味美地区においては、勝川駅から味美駅を經由して名古屋空港への名鉄バスが乗客減に伴い平成20年3月31日を以って廃止された。

この結果、勝川地区と味美地区を結ぶ公共交通機関はかすがいシティバス(はあとふるライナー)病院循環勝川線のみとなっている。

8

(3) かすがいシティバス(はあとふるライナー)

□運行主体:春日井市

□運行目的:

1)市役所等公共施設への接続

2)市民病院への接続

3)公共交通空白地域の解消

4)高齢者等の移動支援、

5)昼間帯の市内の移動手段の提供 を挙げている。

□利用状況:

乗降客の60%が65歳以上の高齢者であり、また行先は市民病院が多くなっていることから、上記目的にある程度対応した路線となっている。

9

□問題点:

病院循環勝川線は、毎日運行ではあるものの、9~16時台に1時間間隔で計7往復の運行に過ぎず、勝川・味美地区の一部しかカバーしていないため、街の活性化をサポートする役割としては必ずしも十分と言えない。

しかし、市の欠損補助によって市全域をカバーする運行を行う「かすがいシティバス」に過大な役割を求めることは容易でなく、勝川・味美地区の活性化を望む立場としては、民間事業者や市の運行を補完しつつ、自らが運営に取り組むというスタンスに積極的に踏み込むことが必要である。そこで、来街者を増加させ、街の活性化を図ることを目的として、「地域の」「地域による」「地域のための」バス運行を企画した。

10

2、運行の目的

- (1) 勝川・味美地区における商店街・商業施設・公共施設・医療機関等を利用する際にだれもが安心して移動できる手段を確保し、街の活性化に寄与する。
- (2) 安心安全や飲酒運転防止の点から、飲食店利用者及び学習塾などの夜間帰宅の足を確保し、住みやすい街をつくる。
- (3) 公共交通機関の利用を促進することで、環境負荷の少ない社会を目指す。

11

3、運行計画

- (1) 運行開始予定日
平成20年10月1日(水)
- (2) 事業主体・運行主体
事業主体:春日井市商店街連合会
運行主体(委託先):あおい交通株式会社(本社:小牧市)
- (3) 運行許可
道路運送法第4条に基づく一般乗合旅客自動車運送事業許可による。なお、春日井市地域公共交通会議での協議結果に基づき、市の公共交通網の一翼を担う路線として位置付けていただくことを想定している。

12